

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ケセルワン 1 L
推奨用途及び使用上の制限 : 洗浄剤
会社名 : 株式会社 エービーシー商会
住所 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
担当部門 : インサル事業部
電話番号 : 03-3507-7390
FAX番号 : 03-3507-7352

整理番号 : KSRP01-0011

作成 2024 年 7 月 30 日

2. 危険有害性の要約

1) 物理化学の危険性

引火性液体 : 区分 3

2) 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分 5

急性毒性(経皮) : 区分 5

急性毒性(吸入) : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚の敏感度 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

水生環境への有害性(急性) : 区分 2

水生環境への有害性(慢性) : 区分 2

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語：警告
危険有害性情報

- ・引火性液体及び蒸気
- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・重篤な目の損傷
- ・水生生物に毒性
- ・長期的影響により水生生物に毒性

安全対策

- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
- ・静電気放電や火花による引火を防止すること
- ・保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置

- ・火災の場合には適切な消火方法をとること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休させること。
- ・吐かせないこと
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水/石鹸で洗うこと。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合は、洗濯すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師の診断/手当を受けること。

保管
廃棄

- ・容器を密閉して涼しいところで施錠して保管すること。
- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組 成 及 び 成 分 情 報

単一製品・混合物：混合物

成 分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	70-80	56539-66-3	2-3079
モノテルペノイド混合物	15-25	非開示	非開示
γ -ブチロラクトン	5-15	96-48-0	5-3337
その他	非公開	非開示	非開示

4. 応 急 措 置

- ・ 眼に入った場合：清浄な水で15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診察を受ける。
 - ・ 皮膚に付いた場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。ガーゼ等の布でよく拭取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛み、かゆみ等がある場合は直ちに医師の診察を受ける。
 - ・ 吸入した場合：風通しの良い場所へ移して安静にせさせ後、直ちに医師の診察を受ける。
 - ・ 飲み込んだ場合：直ちに水道水で口内をすすぎ、直ちに医師の診察を受ける。意識が無い場合は口から何も与えてはいけない。
-

5. 火 災 時 の 措 置

消火剤： 小火災：・ 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、乾燥砂などをもちいる。

大火災：・ 泡消火剤を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消化剤： 棒状注水

特有の危険有害性： 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

引火性の高い液体及び蒸気

特有の消火方法： 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の消火剤 を利用すること。

引火点が極めて低い・散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6. 漏 出 時 の 措 置

- 人体に対する注意事項：漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立入りを禁止し 危険区域での火気使用を禁止する。
風下の人を退避させる。
作業の際には、必ず保護具を着用する。
- 環境 に対する注意事項：漏出したものが、下水、河川に流出するのを防ぐ。
- 多量の漏出時：可能な限りせき止めし、ポンプ（防爆型）等で回収する。又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。
- 少量の漏出時：砂、ウエス等に吸着させ、密閉容器に回収する。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

- 取り扱い：火気厳禁。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を用し、直接の接触を防ぐ。
局所排気装置等を設置して換気を良くする。
休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等を良く洗う。
- 保管：直射日光を避け、容器を密栓して風通しの良い屋内に保管する。
ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- 容器：ステンレス、リン酸亜鉛処理鋼製の密閉容器を使用する。

8. ば く 露 防 止 措 置

- 管理濃度：設定されていない。
- 許容濃度：設定されていない。
- 設備対策：局所排気装置、洗顔、洗眼、手洗い場等設置。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 保護具：有機ガス用防毒マスク。不浸透性の保護衣、保護手袋、長靴、眼鏡及び掛け等。

9. 物 理 / 化 学 的 性 質

- 外観：淡黄色透明液体
- 臭気：ハッカ臭
- 引火点：39℃(原料データとして)
- 発火点：データなし
- 蒸気圧：3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール 66.661Pa
モノテルペノイド混合物 $0.37 \times 10\text{Pa}$ (25℃)
γ-ブチロラクトン 2.666KPa (94℃)
- 爆発範囲：3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール 下限1.2%、上限13.1%
モノテルペノイド混合物 下限1.0%、上限7.0%
γ-ブチロラクトン 下限2.23、上限15.0%
- 溶解度：水溶解性一部不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件下では安定。
反応性	: 有用な情報なし。
避けるべき条件	: 高温加熱, 混蝕禁止物質との接触、火源。
混蝕危険物質	: 強酸化剤、強還元性物質。
危険有害な分解生成物	: 有用な情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 LD50 (ラット) 4380mg/kg (混合物から計算した推定値)
	: 経皮 LD50 (ラット) > 2740mg/kg (混合物計算推測値)
	: 吸入(ガス、蒸気、粉塵、ミスト): 分類できない
皮膚腐食性、刺激性	: 分離できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 重篤な眼の損傷(区分 2A)
呼吸器感作性	: 分類できない。
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 分類できない。
生植毒性	: 分類できない。
特定標的臓器, 全身毒性(単回暴露)	: 分類できない。
特定標的臓器, 全身毒性(反復暴露)	: 分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性：主な水生環境有害性成分

・3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	ヒメダカ	TLm 値：7.400ppm/48H
・モノテルペノイド配合物	オオミジンコ	EC ₅₀ 0.122mg/L/48H
水性生物に強い海性(区分 1)		
モノテルペノイド混合		

残留性・分解性

・3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	: 生分解性物質である。
・モノテルペノイド混合	: n-オクタール/水分配係数=5.56
・γ-ブチロラクトン	: 生分解物質である

生体蓄積性 : データなし

土壌中移動性 : データなし

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃 棄 上 の 注 意

- 残余廃棄物 : 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。 残余物の処理は、焼却炉で少量ずつ処理するか、都道府県知事の許可を受けた、信頼のできる廃棄物処理業者に、廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。
- 汚染容器・包装物 : 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので、密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。
- 焼却する場合 : 珪藻土、おが屑などに吸入させて開放型の焼却炉で焼却する。

14. 輸 送 上 の 注 意

- 注意事項 : 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 国連分類 : クラス 3 (引火性液体、容器等級Ⅲ)
- 国連番号 : 1993
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 引火性液体であるので火気に十分注意する。
- 緊急時応急措置指針番号 : 128
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法に定められるところに従うこと。

15. 適 用 法 令

- 消防法危険物 : 第 4 類第 2 石油類 危険等級Ⅲ
- 化審法 : 既存
- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表題 9)
非該当
: 名称等を表示すべき有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条)
非該当
: 危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)
- 化学物質管理促進法 (PRTR 法) (施行令第 2 条第 2 項、第 1 条別表第 1) : 非該当
- 毒劇及び劇物取締法 : 非該当

海洋汚染防止法 : γ -ブチロラクトン (Y 類)、3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール (Z 類)
船舶安全法 : 引火性液体類(危規則大 2.3 条危険物告示別表第 1)
航空法 : 引火性液体(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

16. そ の 他

推奨する用途と制限 : 洗浄剤
記載内容の問合せ先 : 東京都千代田区永田町2丁目12番14号
(株) エービーシー商会・インサル事業部
電話番号 03-3507-7390 FAX 番号 03-3507-7352

発行又は改訂の理由 : 記載内容更新のため
引用文献 : 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
製造メーカーからの SDS 情報

記

本文中の記載内容は、十分な配慮に基づき作成されていますが、その内容につき明示又は黙示の保証をするものではありません。